

夏の雑学 & 子連れのアイディアグッズ

花火の「ヒュッ」って

音には秘密があった♪

「ドーン パラパラ」

と、夜空で花開く打ち上げ花火。それが昇っていく時間を甲高い音。

空気を切り裂いて昇っていく音だとずっと思っていたのは私だけでしょうか？あの音は笛薬をパイプに詰めたもので、花火

玉に取り付けられているそうです。あの甲高い音が聞こえると、華やかに開く花火への期待感がぐんと増します。

花火の色は使っている

金属で決まる!!

赤：炭酸ストロンチウム

黄：ナトリウム・炭酸カルシウム

ルシウム

緑：硝酸バリウム

青：硝酸銅

白(銀)：マグネシウム・アルミニウム

なんだか化学の授業みたいですね。

① 迷子にさせないアイデア

② 駆け出さないお約束

③ 集合場所を決めておく

④ 名前と連絡先を書いた名札を付ける

⑤ 混みあうのは打ち上げが始まる一時間前頃から、それまでに屋台や買いものを済ませる

⑥ 親は両手が自由に使えるスタイル

⑦ 敷物の場所が分からなくなるなら、コンサートで買ったスティックライトを立てる

⑧ 子供の手を離さない

⑨ 迷子防止用の可愛いハーネスを付ける

⑩ 子供用リュックにリードを付ける

⑪ 子供の手に迷子防止のリシューを付けて親の手とつなぐ

⑫ 「犬みたいに子供を紐で繋ぐなんて」という反論のお声もありますが、はぐれて大騒ぎになるより、可愛い予防策はいかがですか。



シリーズ:お屋根の雑学&メンテナンス

知っ得く
コーナー

【屋根の形状】

最近では様々な形状の家が建てられ屋根の形も多様化していますが、

①切り妻屋根 ②寄棟屋根 ③入母屋屋根の3種類が屋根の基本形状です。この中で最も多いのが、シンプルで雨漏りのし難い①切り妻屋根。②と③は複雑な屋根の形に合わせて瓦を斜めにカットしての屋根葺きが必要です。複雑で

華のある②と③は、ともしれば水が入りやすく構造的に雨漏りしやすい形状ともいえます。

【屋根の材料】

屋根材として最高級なのは粘土で作った瓦と言われます。耐用年数も長く、奈良市奈良町にある元興寺の極楽堂と禅室それぞれの一部には、約1400年前(飛鳥時代)に焼かれたとされる

日本最古の瓦が行基葺きという工法で葺かれ、今も風雨に耐えています。驚きの耐用年数だけでなく粘土瓦は鉄板やスレートの屋根材に比べ、雨音静かで断熱効果に優れています。初期投資を抑え軽量の新建材で屋根を葺きメンテナンスを繰り返すか、一生モノの屋根材を選ぶかは施主さんだけでなく提案側にとっても悩むどころです。近年では見た目、耐用年数など非常に優れたチタン材い8を使う社社も増えてきましたが、一般住宅用には価格がまだまだつり合いません。弊社ではお見積りの際、「ご予算10年後、20年後のライフプランや家族構成などもお聞きして」提案をさせて頂いております。